

第 2 回 洲本川水系河川整備計画懇談会

第 1 回洲本川水系河川整備計画 懇談会の概要と主な意見

令和 4 年 8 月 1 0 日



兵庫県

Hyogo Prefecture

■ 第 1 回懇談会議事概要

- 洲本川水系河川整備計画懇談会の設置について
本懇談会の設立趣旨について説明
- 洲本川水系河川整備計画懇談会規約について
了承され、令和4年7月8日付で施行
- 委員長の選出
委員長：道奥委員、委員長代理：藤原委員
- 議事
 - (1) 洲本川水系河川整備計画運営要綱（案）
了承され、令和4年7月8日付で施行
 - (2) 洲本川流域の概要
洲本川流域の概要、治水、利水・環境について説明

■ 第1回懇談会議事概要

■ 意見交換（以下、主な意見）

- 現行の整備計画に対して今回変更を行うのは、高潮対策とソフト対策の2点か。千草川・竹原川の対策は現行整備計画から変更なしと考えてよいか。

⇒（事務局回答）整備が完了していない千草川・竹原川の対策は現行整備計画のままとし、高潮対策を追加する。ソフト対策は高潮対策に限らず流域全体で実施する。

- 「兵庫県高潮対策10箇年計画」で示されている対象箇所のうち、今回議論の対象となるのは、洲本川河口部のみなのか、海岸部分の洲本大浜も含むのか。

⇒（事務局回答）議論の対象は洲本川河口部のみで、海岸部は含まない。

3

■ 第1回懇談会議事概要

■ 意見交換（以下、主な意見）

- 今後の工事について次回（第2回）の懇談会で議論したい。
- 河床部の対策実施の影響も検討するとよい。

～第2回懇談会で回答が必要な意見～

- 既往洪水の被害状況数の対象エリアを教えてください

⇒意見に対する回答①にて説明

- BOD(生物化学的酸素要求量)の推移について、下水道整備の効果はあると思うが、圃場整備や圃場の用排水分離等の効果もあるのか。

⇒意見に対する回答②にて説明

4

■ 意見に対する回答①

意見①

既往洪水の被害状況数（次頁）は、洲本川流域のものか淡路島全体のものか。

回答①

洲本川流域や淡路島全体のものではありません。

平成16年以前の洪水は、**五色町合併前の旧洲本市**、平成23年以降の洪水は、**五色町合併後の現洲本市**が被害状況数の対象範囲です。

5

■ 既往洪水による被害状況（第1回懇談会資料）

発 生 年 月 日	洪水要因	人		住家(戸)			
		死者	負傷者	全壊	床上浸水	床下浸水	半壊(※)
S36.9.16	台風第18号(第2室戸)		9	75	1,945	3,866	162
S39.9.25	台風第20号	3	4	3	708	1	9
S40.9.10	台風第23号, 台風第24号	2	23	41	1,245	3,127	233
S42.7.9	梅雨前線		1	3	133	598	2
S49.9.8	台風第18号, 秋雨前線	2	2	3	215	1,648	7
S54.9.30	台風第16号				1,044	3,321	
H16.10.20	台風第23号	5			2,749	747	
H23.9.20	台風第15号			1	9	120	1
H26.8.9	台風第11号				6	66	34
H26.10.12	台風第19号			1	35	287	7
H30.9.4	台風第21号				1	6	1

(※)一部損壊含む

出典：S54.9.30洪水以前「洲本市地域防災計画，S61」

H16.10.20洪水 「台風23号による淡路島の災害記録，H17」

H23年，H26年洪水 「洲本市地域防災計画，R2」

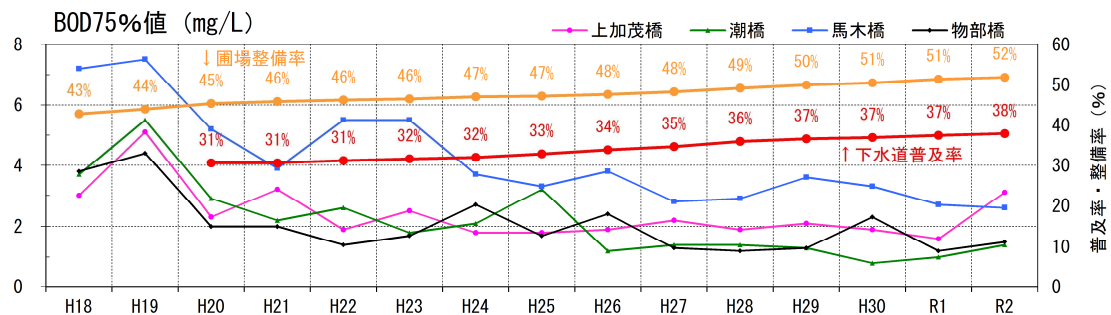
H30.9.4洪水 「兵庫県記者発表資料 台風第21号による被害等について(第8報)」

6

■ 意見に対する回答②

意見②：BODの推移は、下水道整備の効果はあると思うが、それ以外に圃場整備や圃場の用排水分離等の効果もあるのか。

回答②：下図のとおり、下水道普及率の向上や、圃場整備率の向上に伴い、BODが改善されたと考えられます。



※下水道普及率は、南あわじ市（広田処理区）と洲本市（洲本処理区）を併せた普及率。

※圃場整備率は、洲本市と南あわじ市を併せた整備率。